

NO:26.1 形式: F-5D グレース (GRACE) 品川無線 (株)

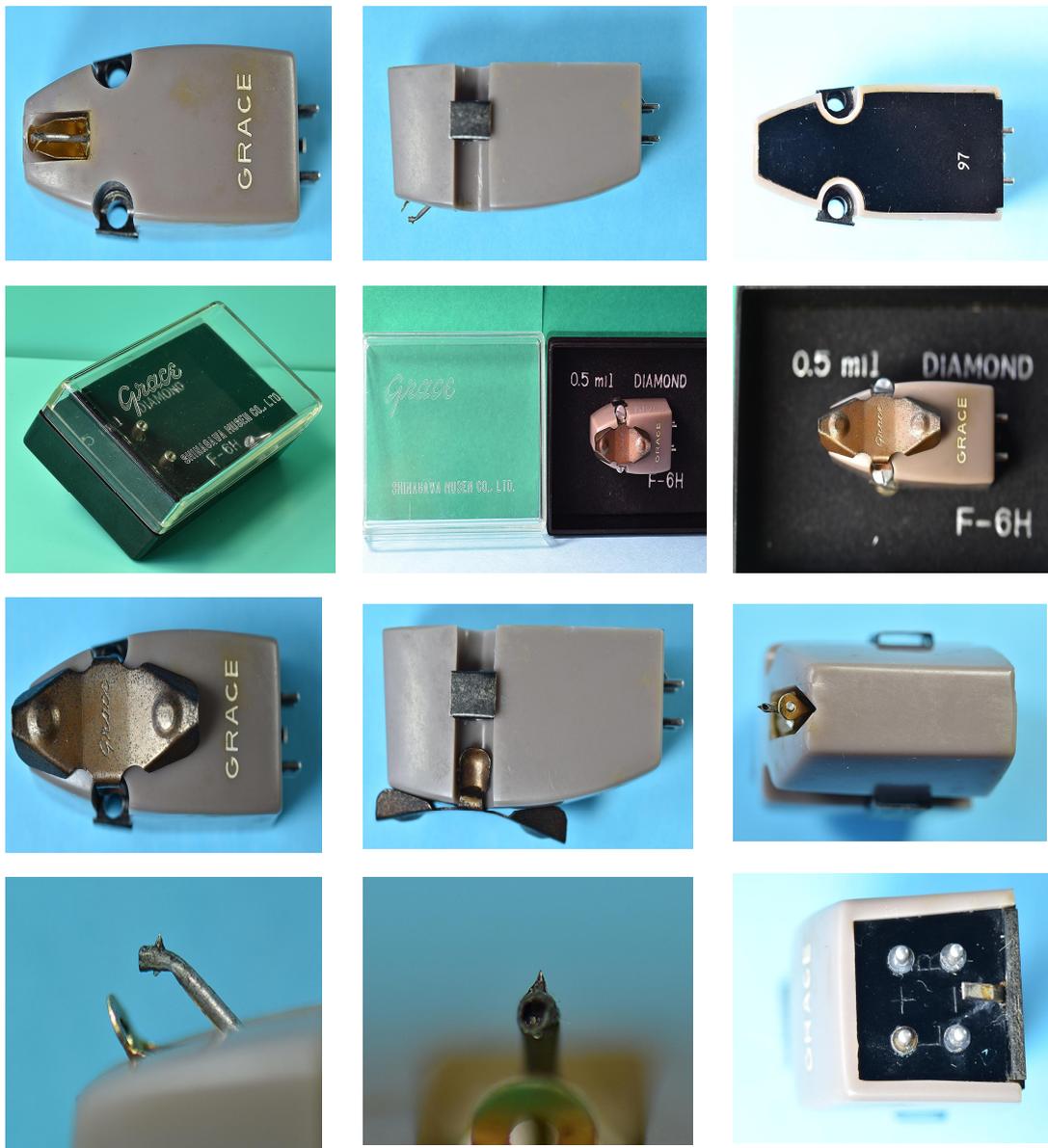


データなし：当方の推測値記載

① MM、②、③ 5、④ 0.7mil、⑤、⑥ 2.5、⑦、⑧、⑨、⑩ 47、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、
⑰、⑱、⑲、⑳、

試聴したところ素晴らしい明瞭な音で耳障りも良かった。特に中音域が良い。

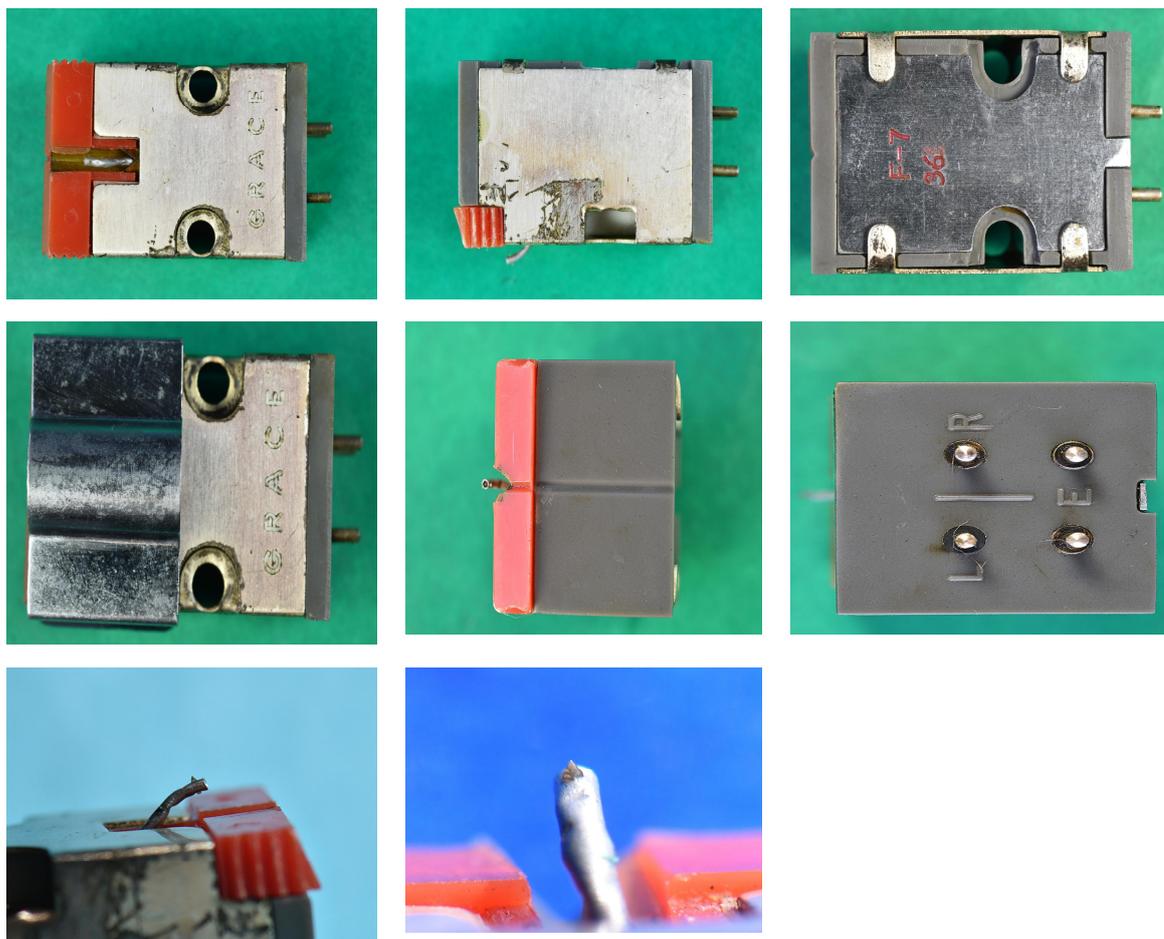
NO:26.2 形式: F-6H グレース (GRACE) 品川無線 (株)



① MM、②、③、④ 0.5mil、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩ 47-100、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、
⑰、⑱、⑲、⑳、

F5 に比べ F6 はコンプライアンスが高く、適正針圧低く、出力電圧が高い。(海老沢徹
著：カートリッジ大全から)

NO:26.3 形式: F-7H グレース (GRACE) 品川無線 (株)



① MM、②、③ 2、④ 楕円、⑤、⑥ 1.5、⑦、⑧、⑨ 15、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯ 1960
中頃、⑰、⑱ 12,500、⑲、⑳、

(ステレオの産業史／グレース から)

シュアーの V15 よりも一歩早く、バーチカルトラッキングエラーの問題に取り組んだ MM 型カートリッジが F-7 です。このカートリッジの設計者は長島達夫氏であった。

レコードの原盤となるラッカー盤に音を刻むときの角度 (パーティカル) は 15 度で、カートリッジの針先の角度もそれに合わせれば、トラッキングエラーを減少させ歪みを減らせる、ということに気付いて最初に実用化したのが、この F-7 であった。

「F-7」は理論を裏付けにした最初の軽針圧カートリッジといえる。この成果が「F-8L」の成功に繋がった。

試聴たところ———— 必要あり

NO:26.4 形式: F-8L グレース (GRACE)

品川無線 (株)



- ① MM、② 10 ~ 35,000、③ 5、④ 0.2 x 0.8mil、⑤ 6.5、⑥ 0.5 ~ 2.5 (1.5 標準)、⑦、⑧ 30-100、⑨ 23、⑩、⑪ 30、⑫ 0.5、⑬ 20、⑭ 40.0、⑮、⑯ 1966/4、⑰、⑱ 15,500、⑲、⑳ SG'84 他、

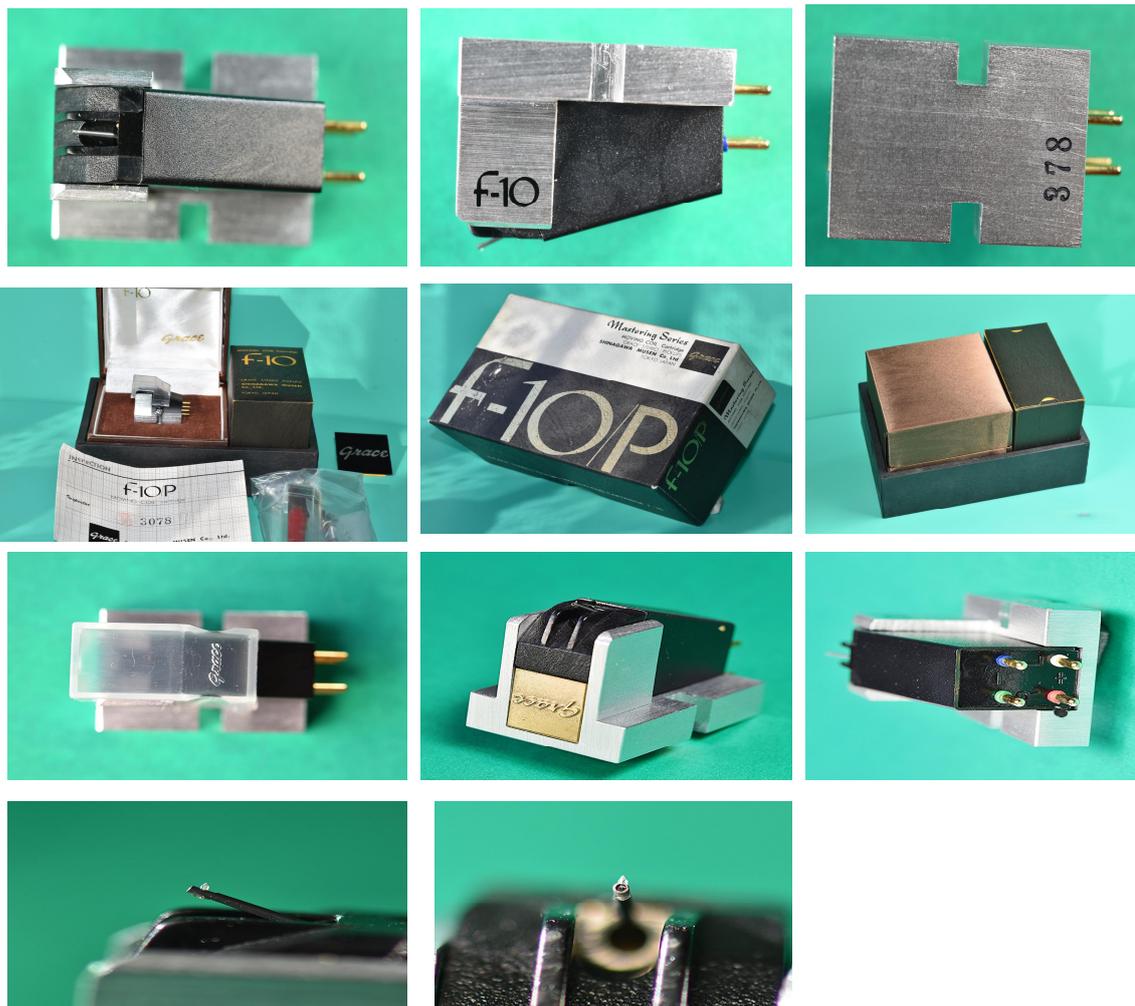
製造者説明：1966（昭和 41 年）カート的设计に当たり基本的な必要要件を 13 項目あげ、NHK 総合技術研究所と音響研究所との共同開発で開発された。

アナログ・ディスク再生の原点として、また、MM 型の標準モデルとしてマニアの方々はもとより、全世界の多くの人々に愛用された。交換針の 8L ' 10 は F-8 の総合技術と F-9 シリーズで得た最新情報を導入し、F-8L 発売から 10 年目に発売した製品です。’

カンチレバー材質は軽量アルミ合金。交換針は 8L'10。（後日購入）

コメント：試聴したところ明瞭感のある美しい歪み感のない最高品質の音です。低音において少しツマリを感じます。

NO:26.5 形式: f-10P グレース (GRACE) 品川無線(株)



- ① MC、② 10 ~ 25,000、③ 0.75、④ 0.2 x 0.8mil、⑤ 9.3、⑥ 2.0 ~ 3.0(2.5 標準)、⑦、⑧ 50、⑨、⑩ 100、
⑪ 25、⑫ 0.5、⑬ 13、⑭ 23、⑮、⑯、⑰、⑱ 46,000、⑲、⑳ 取扱説明書他、

製造者説明：取扱説明書に特徴の記載がない。シリーズに f - 10L がある。カンチレバー材質はテ
ーパート OX チタン 0.02mmt。f-10L はホロン系複合材 0.26mm φ

コメント：F - 8L 購入以来の久しぶりのグレースと対面、外箱の中に丁寧に同封されており、
会社のカートリッジに対する思い入れを改めて感じさせられた。1989 年にオーディオから
撤退した。

試聴したところ低音の締まりの良い、歪み感の少ない素晴らしい音でした。